第1回 府中市男女共同参画推進協議会 議事録

- 日時 令和7年5月23日（金）午前10時から午前11時45分まで
- 会場 府中駅北第二庁舎 6階打合せ室
- 出席者（委員）
芦沢委員、榎本委員、落合委員、西條委員、志村委員、藤山委員、松本委員、
眞鍋委員、丸山委員、宮井委員、向井委員
（事務局）
市長
大井市民協働推進部長、平野女性活躍推進担当副参事、二階堂男女共同参画推進係長、
有吉事務職員、中島事務職員
- 欠席者 岩本委員
- 傍聴者 0名
- 議事
 - 1 委嘱状の伝達
 - 2 市長 あいさつ
 - 3 新委員紹介、職員紹介
 - 4 正副会長の選出
 - 5 諮問
 - 6 会議の公開について
 - 7 令和7年度審議予定について
 - 8 報告事項
 - (1) 府中市男女共同参画推進協議会の答申（令和7年3月）に係る府中市の
現状について
 - (2) 第7次府中市男女共同参画計画について
 - (3) 府中市市民提案型男女共同参画推進講座について
 - 9 その他
- 資料
 - 1 男女共同参画協議会委員名簿
 - 2 府中市附属機関の設置等に関する条例(平成27年3月13日条例第1号)
 - 3 府中市男女共同参画推進協議会規則(平成27年4月2日規則第35号)
 - 4 会議の公開について
 - 5 府中市男女共同参画推進協議会 審議予定表（案）
 - 6 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律のポイント
 - 7 令和7年度府中市男女共同参画推進のための市民提案型講座 募集要項
 - 8 年間開催予定表

参考資料 1 男女共同参画の推進に関する事項について（答申）令和7年2月（計画省略版）

当日配付資料 1 第3次府中市公共施設マネジメント推進プラン
2 第38回府中市男女共同参画推進フォーラム チラシ

参考配付資料 第6次府中市男女共同参画計画
第7次府中市男女共同参画計画

【事務局】

おはようございます。皆様、本日はお忙しいところご出席をいただき、誠にありがとうございます。これより、第1回府中市男女共同参画推進協議会を開催いたします。

私は、男女共同参画推進協議会の事務局を担当しております、男女共同参画推進係長の二階堂と申します。当協議会の会長が決定されるまで、議事の進行役を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

はじめに、「次第1 委嘱状の伝達」でございます。市長より委嘱状をお一人ずつにお渡しいただきます。

事務局の方でお名前をお呼びいたしますので、市長から委嘱状をお受け取りください。

【市長】

(市長により委嘱状の伝達)

本日もご出席されている方は以上となります。なお、岩本委員につきましては、本日もご欠席のご連絡をいただいておりますので、後日、事務局からお届けいたします。

続きまして、「次第2 市長 あいさつ」でございます。高野市長、お願いします。

【市長】

(挨拶)

【事務局】

本日は第1回目の会議でございますので、委員の皆様にご自己紹介をしていただいた後、会長、副会長の選出を行います。なお、自己紹介はお時間の関係もでございますのでお名前と所属のみでも結構でございます。配付した資料1に委員名簿がございますので、参考にご覧ください。また申し訳ございません、資料1について委員の選出団体名を一部訂正させていただいたものを再配付しておりますので、よろしくお願いいたします。

(全委員 自己紹介)

【事務局】

委員の皆様、ありがとうございました。

続いて、職員の紹介をさせていただきます。大井市民協働推進部長からお願いいたします。

(職員 自己紹介)

以上の職員が担当いたしますので、よろしくをお願いいたします。

それでは次に資料の確認をさせていただきます。

事前送付資料が資料1から8と参考資料1で、当日配付資料として机上に2点と第7次府中市男女共同参画計画となっております。新任されました委員の方には参考として、第6次計画もお配りしております。当日配付資料の内容につきましては、のちほどご説明いたします。

その他、資料に不足等はございますか。

それでは、引き続き、進めさせていただきます。

資料2の6ページの表をご覧ください。本協議会は、府中市附属機関の設置等に関する条例において、府中市長の附属機関として設置されています。所掌事項については、「次第5 諮問」でご説明いたします。定数は12名以内、任期は2年となっています。続いて、2ページをご覧ください。中段の表に報酬の記載があり、本協議会委員は日額11,000円となっております。

続きまして、資料3をご覧ください。第4条第2項では、協議会は、過半数の委員の出席が必要とされています。現在、定数12名中11名の委員の皆様にご出席をいただいております。過半数を超えておりますので、本協議会は有効に成立していることをご報告いたします。

それでは、「次第4 正副会長の選出」を行います。

資料3の規則第3条第1項では、正副会長は、委員の互選となっておりますが、どなたかご意見はございますか。

【向井委員】

先ほど、各委員の自己紹介もございましたが、初めて参加する方もいらっしゃるのでは、事務局案

を提示してもらえませんか。

【事務局】

それでは事務局案を提案させていただきます。

会長には、前期に副会長としてご就任いただいております藤山委員、副会長には、他市でも男女共同参画推進に関する協議会委員としてのご経験がある眞鍋委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員 異議なしの声)

【事務局】

それでは、会長は藤山委員に、副会長は眞鍋委員にお願いいたします。お二人には正副会長席にお移りいただき、ご挨拶をお願いいたします。

(正副会長 挨拶)

【事務局】

ありがとうございました。

それでは、会長、副会長が決定いたしましたので、「次第5 諮問」について市長から会長に諮問書を伝達させていただきます。会長、副会長は、恐れ入りますがご移動をお願いいたします。

【市長】

(市長より諮問の伝達)

【事務局】

ありがとうございました。市長は公務のためここで退出いたします。

(市長退席)

それでは、ここからは、藤山会長、議事の進行をお願いいたします。

【会長】

会長に就任しました藤山です。どうぞよろしくをお願いいたします。

先ほど、市長より諮問書を受け取りましたので、皆様にも事務局から「写し」を配付してください。

(事務局「写し」の配付)

諮問について、事務局より補足説明はありますか。

【事務局】

はい、会長。「諮問」について、ご説明いたします。

本協議会は、府中市長より諮問を受けまして、本日令和7年5月23日から令和9年5月22日までの2年間を任期として、各事項について評価・検証等を行っていただきます。

諮問事項は、

- (1) 府中市男女共同参画の推進に係る取組の進捗状況について評価・検証を行うこと
- (2) 府中市男女共同参画センターの事業計画及び運営に関することについて検討を行うこと
- (3) 府中市市民提案型男女共同参画推進講座の選考について
- (4) その他男女共同参画の推進に関し、市長が必要と認めること

となっております。

なお、本協議会から市長へ、毎年度末を期限に、令和7年度末に「報告書」、令和8年度末には「答申」を提出することとなります。以上です。

【会長】

只今の説明について、何かご質問等はございますか。

続いて、本日の傍聴希望について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

続いて、「次第6 会議の公開について」、ご説明いたします。資料4をご覧ください。

本協議会は、府中市情報公開条例 第32条第1項により、原則公開するものとされております。

協議会の開催につきましては、「広報ふちゅう」等により通知し、傍聴希望者を募集します。傍聴者に関する留意事項は、資料の2ページ目、項番4から6に記載しております。

協議会の内容については「議事録」を作成し、委員の皆様にご確認いただいた上で、各公開場所にて、公開いたします。詳しくは、資料の1ページの項番3をご参照ください。

なお、本日の傍聴希望者はございません。事務局からは以上でございます。

【会長】

続いて、「次第7 令和7年度審議予定について」事務局より説明をお願いします。

【事務局】

資料5「府中市男女共同参画推進協議会 審議予定表（案）」をご覧ください。

こちらは第6次府中市男女共同参画計画の評価期間、令和3年度から令和7年度について、協議会の審議内容・予定をまとめた資料となります。資料上部は昨年度までに既に審議済の内容を記載しており、資料中央が今年度の審議予定内容となっております。今年度が、第6次計画の評価期間の最後の年となるため、昨年度までから審議内容を一部変更する予定です。

はじめに、諮問事項1「府中市男女共同参画の推進に係る取組の進捗状況について評価・検証を行うこと」について、本協議会では計画内の各課施策の実績に対して、「第三者評価」を行っております。資料上部、諮問事項1の審議内容①から③が昨年度までの流れとなります。今年度は第6次計画の評価期間の最終年となるため、只今ご説明した内容から、資料中央の評価期間令和7年度の諮問事項1の審議内容を赤字の内容へ変更をいたします。今年度は、令和6年度実績のみに対する評価ではなく、令和2年度から令和6年度の5年間の総括実績に対して第三者評価を行っていただく予定です。また、来年度からは第7次計画の推進実績状況についての評価が始まるため、その評価方法や、各課の実績回答方法について、今年度の協議会でご意見を伺う予定です。

次に、諮問事項2「府中市男女共同参画センターの事業計画及び運営に関することについて検討を行うこと」ですが、こちらは今年も内容は変わらず、当センターの「業務概要」という資料の確認と、「答申/報告書」内の「府中市男女共同参画センターの事業計画及び運営に関することについ

て」の総評をご協議いただきます。

最後に、諮問事項3について、昨年度までは「府中市男女共同参画市民企画講座」事業を行ってまいりましたが、令和6年度をもって廃止となり、今年度からは「府中市市民提案型男女共同参画推進講座」事業を開始いたします。資料中央の評価期間令和7年度の諮問事項3の審議内容の赤字箇所をご覧ください。こちらの新講座事業では、第2回協議会内において「プレゼンテーション審査」を実施する予定です。この講座については、次第8の(3)にて改めてご説明いたします。

また、資料8「令和7年度 府中市男女共同参画推進協議会の開催予定について」もご覧ください。ただいまの資料5でご覧いただいた今年度の各諮問事項と諮問事項ごとの審議内容を、何回目の協議会で行うかをまとめた表となっております。資料8にございます表の上部の諮問事項1から3がそれぞれ資料5の諮問事項に該当しておりますので、照らし合わせてご確認いただければと存じます。

説明は以上です。

【会長】

事務局からの説明について、質問等ございますか。

昨年度までは重点項目の評価でしたが、そうではなく、基本目標ごとの評価ということですね。

【向井委員】

昨年度までを考えると4回で足りるのかと疑問に思いました。7回から10回ほど開催していた時もありましたが、開催数を4回にした理由はあるのでしょうか。

【事務局】

各担当課へのヒアリング等を行わず、5年間の総括評価のみになる関係で、開催数を減らしたという次第です。

【向井委員】

5年間でほとんど進捗していない、例えば男女比率が数パーセントで低迷したままの項目などがいくつかあると記憶しています。そういった課への指摘も意味を成しているのだろうかと思いま

す。この協議会としても私達に何を評価してほしいのか、5年間の第三者評価を行うとなると大変だと思いました。その分量に対して4回という回数には疑問を感じます。

【会長】

基本目標ごとですと何個の評価になるのでしょうか。今までの協議時間を考慮すると、一つの評価に対して2回以上の協議が必要かと思うので、やはり少しタイトなスケジュールかと思います。

【事務局】

基本目標ごとですので、4つの評価となります。まとめて評価するということとなります。

【副会長】

他市での審議会での経験をもとに意見させていただきます。府中市は特定のある事業に関して議論していますが、一つの基本目標の中には10から20項目ほどの事業があり、それぞれ自己評価の幅が混在しています。それらを全てまとめて評価するのは大変かと思います。

【事務局】

ご指摘ありがとうございます。只今頂いたご意見についてごもっともだと思っております。資料8で4回の開催としてお示ししておりますが、事務局で再度、内容と分量について確認いたします。検討結果により開催数を増やさせていただく可能性もございますが、どうぞよろしく願いいたします。

【会長】

承知しました。柔軟に対応いただきありがとうございます。

その他ご意見は何かありますか。

それでは次第に沿って議事を進めます。

「次第8 報告事項（1） 府中市男女共同参画推進協議会の答申（令和7年3月）に係る府中市の現状について」、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

参考資料1「男女共同参画の推進に関する事項について（答申）」の141ページ「2 府中市男女共同参画センターの事業計画及び運営に関することについて」をご覧ください。なお、本資料は第7次計画（案）が挿入されておりましたが、計画本体をお配りしている関係で、7ページから72ページについては省略したものをお配りしております。

142ページ以降に、令和6年度府中市男女共同参画推進協議会より頂いたご意見が記載されております。

令和5年度の市民意識調査では、男女共同参画センター「フュール」の認知度は34.5%と低く、令和6年度は各市営施設や商工まつりで啓発用品を配布するなどの取組みを行いました。引き続き、情報発信方法の改善、他市事例の調査等に努めてまいりたいと考えております。

また、当センターでは府中市男女共同参画計画に基づき、各種講座や男女共同参画推進フォーラムを実施しております。令和6年度は「男性育休プログラム」をオンラインで実施し、男性の働き方改革や家庭への参画について意識啓発を行い、評価していただきました。

DV被害者支援につきましては、当センターでは「女性問題相談」を行っていますが、DV被害内容は年々複雑化している中で、令和6年4月から新法が施行されたことにより、相談体制の充実と整備が求められています。若年層への意識啓発や、女性人権に関する継続的な支援の実施、また、男女共同参画の意識啓発に関する事業の実施に努めてまいります。

報告事項（1）については以上です。

【会長】

何か質問や確認等がございますか。

ちなみに男女共同参画センターを普段利用されている委員から、施設の現状について意見をお聞きしたいです。

【榎本委員】

私は男女共同参画センター登録団体の会長ですが、高齢化が非常に進んでおり、団体が少なくなっていると感じます。男性がとても利用しやすい施設かという点、そのようには感じません。府中はプラッツという施設があり、そこは誰でも利用しやすいように思います。男女共同参画センター

「フチュール」は、来てみると駅から近く、利用料も安く使いやすいのですが、講座には初めて来る方が多く、団体数は減っているという現状です。登録団体も、登録はしているものの活動がなかなかできないという団体が多いです。

【会長】

今のご意見を聞くと、来てみると使いやすいというお声はあるということで、潜在力としてはあるように思います。課題について今年度考えていければと思います。

【芦沢委員】

フチュールは現在、男性の働き方改革などに取り組んでいますが、府中市の現状を考えるとそもそも男女共同参画という考えが古く、LGBTQや多様性など、守備範囲として幅広い層を対象としていくべきだと思います。奈良県の女性センターに行ったことがあります。そこには男性相談窓口がありました。定年退職した方が毎日家庭内で生活することで夫婦双方のストレスが生じるなど、よくある問題ですが、そういった家族全員にかかる問題に対応していくことが目標になるのではないのでしょうか。DVなど旧来からの課題が解決しているわけではないですが、男性や性的マイノリティの方なども含めた多様性の実現が大事だと思います。

【会長】

男性問題相談を行うのが適切かどうか、検討事項になるとは思いますが、そういった面も含めて検討していただければと思います。

【事務局】

続きまして、「報告事項（2）第7次府中市男女共同参画計画について」ご説明いたします。お配りしました「第7次府中市男女共同参画計画」の冊子をご覧ください。こちらは今年4月から施行されました新しい計画となり、計画期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間となります。策定に至るまでは、本協議会での2年間にわたるご審議、また、市民の皆様に直接ご意見を募集するパブリックコメントを実施し、23件のご意見を頂きました。協議会での審議やパブリックコメントでのご意見を踏まえまして、本計画を策定しております。第7次計画の10ページをご覧

ください。第7次計画の内容といたしまして、体系図のとおり「Ⅰ 女性活躍の推進とワーク・ライフ・バランスの実現」「Ⅱ 男女共同参画の推進に向けたマインドチェンジ」「Ⅲ 人権が尊重される社会の構築」の3つの基本目標から構成されております。

第7次計画のポイントとしまして、令和6年度4月から施行された「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」及びその基本計画に該当する施策が盛り込まれており、星印の箇所が該当となります。

計画書とあわせて、資料6「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律のポイント」をご覧ください。こちらは厚生労働省が発行している資料となります。法律の概要を簡単にご説明します。

新法は、年齢や国籍、家族の有無など、様々なバックグラウンドを抱えた困難な状況にある女性に対し、人権の擁護と、男女平等の実現に資することを旨として、ご本人の意思に沿った安全安心の自立した生活が送れるよう支援することが、新法の主旨となっています。

また、新法が制定された大きなポイントが2つあります。

1点目は、新法が定められる前、性暴力被害者の保護事業は、「売春防止法」の「保護・更生」が根拠となっており、被害者は法律上、「更生が必要な人」として扱われていました。実際に置かれている立場とは大きく異なっているため、新法では、売春防止法から婦人保護事業を取り出し、純粋な「保護対象者」として対応が可能となりました。

2点目は、支援の方法として、官民が連携し、切れ目のない支援に当たることが明文化されています。貧困や自身の心身の健康状態、家庭環境や家族との関係など、重層的な問題を抱える女性に対し、本人の意思を尊重しながら支援を行うためには、支援にも多様さが求められます。行政だけでなく、民間とも協力して支援を進めることが重要となっています。

以上が新法の目的と、ポイントになります。

報告事項（2）については以上です。

【会長】

何かご質問等はございますか。

それでは次の次第についてご説明をお願いします。

【事務局】

続きまして、「報告事項（3）府中市市民提案型男女共同参画推進講座について」ご説明いたします。資料7「令和7年度府中市男女共同参画推進のための市民提案型講座 募集要項」をご覧ください。

まず2ページ上部の「1 趣旨」をご覧ください。府中市では、「府中市男女共同参画計画」の課題Ⅱ「男女共同参画の推進に向けたマインドチェンジ」の課題「男女共同参画の意識づくり」に基づく事業として「府中市男女共同参画推進のための講座事業」を位置づけています。男女の地位の平等を実現し、男女が共に認め合い、いきいきと豊かに暮らせる社会を実現するためには、社会のあらゆる分野において固定的性別役割分担意識の解消を図っていくための意識改革（マインドチェンジ）が必要です。つきましては、令和6年度まで市民企画講座として実施していた講座については、男女共同参画社会の実現を目指し、地域における男女共同参画の意識づくりや女性人権の啓発等、多様なテーマ・内容で、市内で活動する市民団体・NPO法人や事業所等の企画運営による男女共同参画推進のための市民提案型講座事業として実施します。

募集は、令和7年5月15日（木）から開始しており、6月15日（日）午後5時までの締切としております。募集团体数は、2団体程度で、1団体1講座で、1講座あたり2回から3回開催していただきます。応募資格は、府中市内で主に活動している市民団体で、1団体3人以上がおり、市内在住者、市内在勤者又は市内在学者が含まれていることが必要です。

次に3ページをご覧ください。講座内容としては、市民・地域に対して、第7次男女共同参画計画に基づき、1から5のいずれかをテーマとした講座であることとしています。次に講座実施概要として4ページをご覧ください。講座の実施期間は令和7年10月から令和8年2月までとしており、講座の定員は20名以上、事業経費は1団体15万円以内となります。

次に7ページの14 実施スケジュールをご覧ください。選考方法ですが、1次選考として6月下旬に書類選考を行います。1次選考通過団体には、2次選考として7月の第2回男女共同参画推進協議会でのプレゼンテーション審査を実施し、採用団体を決定します。

説明は、以上でございます。

【会長】

事務局からの説明について、質問等ございますか。

【芦沢委員】

昨年度までの市民企画講座は上限が3万円で複数団体を募集していたと思いますが、事業の予算額が30万円というのは変わらず、テーマに則した2団体のみ募集するという変更を行ったという理解であっていますか。

【事務局】

はい。

【会長】

市民企画講座では男女共同参画というテーマに則していないものもありましたからね。ちなみに現在応募状況はいかがでしょう。

【事務局】

まだ応募はございませんが、問い合わせ自体は受けておりますので、ご興味は持っていただけているようです。

【芦沢委員】

応募のハードルがかなり上がっているようで、厳しいのではと思います。仕組みを変えて、説明の機会が殆どなく応募のみ待っているのは難しいと感じます。説明会を開いたり団体に助言をするなど、コミュニケーションとしてもう少し丁寧さがあっても良いのではと思います。

【事務局】

今のご提案の考えがこちらでは無かったのですが、おっしゃるとおりだと思います。金額も上がっており、テーマもコアな部分がございますので、そのテーマで考えているかどうかというのは難しいところがあると思います。説明会は難しいかもしれませんが、市HP等でご説明、ご提案をできればと思います。

【会長】

知っていただく、ということも確かに大事だと思います。私は他自治体の男女共同参画センターの職員でしたが、その際は講座について説明会がありました。

【向井委員】

今の説明を聞き、今までの市民企画講座とのハードルの違いがやっと理解できました。昨年度はそういった高いレベルのものを要求したいと協議会で話していましたよね。ただ男女共同参画推進フォーラムの方では、市民企画講座などで関わっていた団体の講座が多くありますので、場所を移動しただけのようにも感じます。

本当は、もう少し分かりやすく男女共同参画がテーマだという講座があれば良いのですが、登録団体の実情もあると思いますので、どうしたら団体を育てられるのかを考えていかないといけないと思います。講座、フォーラム含めフューチャーの将来性について危機感を持っています。

【会長】

フォーラムはお祭りのようなところもあるので、幅広いテーマの講座を行うのはありえるとは思いますが、男女共同参画というテーマから抜け落ちたものしかないと困ってしまいますね。うまくバランスがとれれば良いのですが。それに繋がるような市民提案型の講座が出てくれば、と思います。

企業から選出されている委員からも、こういうことであれば企業としても講座に協力できる、などあればご意見を伺いたいです。

【西條委員】

企業では今、労働力不足の補完について女性参画を促すことが必要だという話をセミナーで聞きました。多様性の時代ではありますが、やはり女性の労働参画に関心がある企業は多いと思います。

【会長】

ありがとうございます。副会長もご意見をいただけますか。

【副会長】

日本の私たちの働き方は今まで男性の長時間労働に偏っていたと思います。専業主婦が家事を担っていた分、家庭全体としてはワーク・ライフ・バランスが保たれているように見えていました。しかし、共働きが一般的になり、夫婦が同じように長時間働くようになると、家庭全体のワーク・ライフ・バランスが非常に仕事寄りになってしまっています。女性ももっと働くようにと言われるようになりましたが、今までの男性と同じように働いている状況では、仕事と家事以外の活動はとてでもできず、父親が二人いるような忙しさだといえます。子どもの面倒も見るができない働き方ならば、管理職になりたくないというのも普通の感覚だと思います。共働き前提の世の中になるのであれば、そういったところも変えていく必要があると感じます。

【会長】

企業も地域も取り組めることは恐らく沢山あるだろうと思います。この市民提案型企画がそのうちの一つになれば良いだろうなと感じます。

【榎本委員】

私は昨年度まで市民企画講座を行っていました。数年前の男女共同参画センターの所長に、若いお父さん世代に向けて何か講座をやってほしいと言われ、リトミック講座を始めました。30年程続けていますが、10年前頃まではお母さんだけだったのが、今ではキャンセル待ちがでるほど、お父さんがいらっしゃるようになりました。時代の空気が変わったように思います。

今年度から市民提案型講座に変わりましたが、団体向けではないように感じました。昔は事務局からコミュニケーションがあり、こういう事業があるので参加してくれないかと声をかけられ、参加していました。高齢化などは進んでいますが、声をかけられたら参加する余力がある団体はあると思います。ただ男女共同参画センターがどういった目的でどう進んでいくのかが分かりません。まずは地域の人が利用され、災害があった際につながりを活かせれば、と思いますが。

【芦沢委員】

ジェンダーギャップ指数が全てかと言うとそうでもないと思います。女性管理職比率をただ増やせばいいのかというと微妙だと思います。そういったことを話せるくらいの理解度を皆が持てるく

らいになることを目指すのが大事だと思います。

一点質問ですが、資料7の4は、「または」か「兼」かどちらになりますでしょうか。

【事務局】

団体構成員の一人以上が市内在住者、在勤者、在学者であれば問題ございません。

【会長】

1 また2 または3 かつ4 ということですね。

【向井委員】

お父さんと一緒にリトミックをするという講座であれば、「5 講座内容」の2にあたるのでしょうか。

【事務局】

はい。

【榎本委員】

子育て関連の講座であれば、他課の事業の方が該当するのではと以前職員から言われましたが、是非フチュールにお父さん達が参加できる講座があれば、と思い取り組んでおりました。やりたくても市民提案型講座応募についてはハードルが高いため、やりにくいと感じます。

【会長】

自分たちの活動がどこに該当するかが見えないということですね。1、2、3でも該当すると思いますが、いかにそういう視点を持っているか、そういった説明が各団体にあつたら良いと思います。

【榎本委員】

フチュールに登録している団体として、こういったことができるかというあまりいない気もし

ます。

【会長】

どこのセンターでも同様の実態だとは思いますが、募集をきっかけに男女共同参画とはこういうことだというご紹介、ご説明をする機会があれば、可能性はあると思います。

【榎本委員】

そうですね。昨年度までの市民企画講座ならハードルが低く、やりやすかったです。

【会長】

そういったハードルを感じているところには、下げる努力が必要になります。

【事務局】

こちらの書き方は、計画に基づいたテーマですので難しく見えると思いますが、そもそも男女センターの登録団体は男女共同参画を主とした活動をするという前提があるので、何かのテーマに繋がっているとは思いますが。登録団体にも活動とのつながりについてご説明をし、積極的にお声かけをしていきたいと思っています。

【会長】

コミュニケーションを取っていただくと、見え方も変わってくると思います。

【落合委員】

私はPTAの会長をやっていますが、保護者の方になかなかご参加いただかず活動が縮小しています。家庭内における教育の中で必要な講座をしてくださいと役所から保護者に説明していただいているのですが、実際そこで説明を受けても、どういうところがどの視点にあたるのかというのが、ピンとこない方が多くいらっしゃいます。とても細やかに伝えていただかないと理解してもらえないと感じます。こういった会議に参加していれば男女共同参画の視点や実情についてすぐに分かるばかりだとは思いますが、より丁寧に説明をしていただかないと全く伝わらず、事業にそぐったもの

が生まれないように思います。細やかな説明をしていただくことで、大々的に周知され、良い企画が出てくると思います。

【芦沢委員】

昔はAといえばAだという共通の価値観がありましたが、今は多様化・個別化されているので、同じ言葉を聞いても人によって理解されない状況が多くありますよね。

【落合委員】

とても小さいことでも、こんなことでも良い、こんなことも繋がるという引き出しを示してあげることが大切だと思います。

【芦沢委員】

一つのコミュニティの中に入ると特定の層しか居ないため、共通言語で伝わりやすいですが、地域という大きい範囲となると、小さなことも伝わりにくいことは多くあると思います。コミュニケーションを丁寧にすることが大事だと思います。

【会長】

せっかく新しい取り組みを始めますし、事務局にコストはかかりますが、新しい機会をとらえ、男女共同参画事業を多くの方に知っていただければと思います。

次に、「次第9 その他」について事務局からお願いいたします。

【事務局】

事務局より4点ございます。

1点目は、男女共同参画推進フォーラムについてお知らせいたします。本日配付しております、A4カラーのチラシをご参照ください。

内閣府では男女共同参画の意識啓発期間として、毎年6月23日から29日までの間を男女共同参画週間としています。この期間に合わせ、男女共同参画センターでは、基調講演、パネル展示、登録団体との各種講座・ワークショップの開催、図書の特集コーナーの設置などを行います。

なお、基調講演は本協議会にて副会長になられました、眞鍋倫子教授に講師としてご登壇いただきます。「【結婚/生活 いま、むかし】～『結婚する？したくない？』結婚というコトバの重みを一緒に解きほぐしていきましょう。～」と題し、様々な世代の方や時代によって変化してきた結婚についての価値観を掘り下げていく、といった内容を予定しております。講演と合わせ、参加者のグループディスカッションを行い、世代を超えた意見交換、交流を目指しております。本日はチラシ1枚ずつをお配りしておりますが、ご所属機関などお配りいただけるようでしたら、チラシとプログラムを入口付近にご用意しておりますので、是非お持ち帰りいただければと思います。男女共同参画推進フォーラムについてのご説明は以上です。

次に2点目、「第3次府中市公共施設マネジメント推進プラン」についてご説明いたします。本日配付した当日配付資料1「第3次府中市公共施設マネジメント推進プラン」をご覧ください。

本市では、平成24年5月に「府中市公共施設マネジメント基本方針」を策定し、これまで整備してきた公共施設を良好な状態で将来に残していくため、総合的かつ長期的な視点で費用とサービスの最適化を進めております。この基本方針の各施設の具体的な取組を示したものが公共施設マネジメント推進プランになります。お手元にお配りしております「第3次府中市公共施設マネジメント推進プラン」は、令和4年度から令和7年度までを計画期間としており、今年度が計画期間の最終年度になります。ページをおめくりいただき、126ページをご覧ください。こちらには、第3次府中市公共施設マネジメント推進プランにおける「フューチャー」の取組を記載しております。当施設も建築後30年以上が経過しておりますので、ページ上部の取組内容の1点目「設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。」につきましては、本年度中に市としての方向性を示す必要がございますので、当協議会のご意見もお伺いさせていただきたく存じます。具体的には、第2回の協議会において、ご議論できればと存じますのでご承知おきください。

当日配布資料1の「第3次府中市公共施設マネジメント推進プランについて」の説明は以上です。

次に3点目、男女共同参画協議会の開催日程についてご説明いたします。

資料8「令和7年度 男女共同参画推進協議会の開催予定について」をご覧ください。今年度の本協議会の予定となっております。

今年度は、開催回数を年間で4回を予定しております。第2回は7月25日（金）午前、第3回は10月下旬、第4回は1月下旬を予定しております。

最後に4点目、事前に郵送させていただいた資料のうち、本日も提出いただきたい資料が数点ございます。委員の皆様全員につきましては、「委任状」と「第6期府中市男女共同参画推進協議会名簿掲載項目について」という書類のご提出をお願いいたします。また、新委員の方につきましては、「個人番号の提供書」という資料もご提出いただきたいのですが、その際、お持ちいただいた個人番号カード又は個人番号通知カード、そして本人確認書類を職員にご提示ください。

事務局からは以上ですが、その他委員の皆様から何かございますでしょうか。

【芦沢委員】

東京レインボープライドに、今年度府中市は出展されますか。

【事務局】

今年度から出展しない方針となりました。

【会長】

それでは、本日の会議は閉会とします。本日は御出席ありがとうございました。